

彦根市総合計画 前期基本計画（抜粋）

彦根市総合計画 前期基本計画

Hikone City 2022 ▶ 2025



令和4年(2022年)3月

彦根市

目次

第1章 だれもがその人らしくいきいきと暮らし、つながり支え合うまち 1

1-1 人権・多文化共生

1-1-1 人権尊重のまちづくりの推進	3
1-1-2 男女共同参画社会づくりの推進	6
1-1-3 多文化共生のまちづくりの推進	8
1-1-4 国際交流の推進	11

1-2 健康・福祉・医療・生涯学習

1-2-1 健康づくりの推進	13
1-2-2 地域福祉体制・生活支援体制の充実	16
1-2-3 障害者(児)福祉の推進	19
1-2-4 高齢者福祉の推進	22
1-2-5 地域医療体制の充実	25
1-2-6 生涯学習・社会教育の推進	27

第2章 子ども・若者が自分らしく輝き、学び躍動するまち 31

2-1 子育て・次世代育成・教育

2-1-1 子ども家庭支援の推進	33
2-1-2 乳幼児の保育・教育の推進	36
2-1-3 小学校・中学校教育の充実	39
2-1-4 子ども・若者育成支援の推進	44
2-1-5 高等教育機関との連携	48
2-1-6 若者の定住・移住の促進	50

施策

1-2-6

生涯学習・社会教育の推進

- 関連する施策
- 2-1-3 小学校・中学校教育の充実
 - 2-1-5 高等教育機関との連携
 - 3-3-4 就労機会・就労環境の充実



現状と課題

- 「人生100年時代」を迎える中、人々の価値観やライフスタイルの変化により、多様化する市民の学習ニーズに対応する必要があります。
- 少子高齢化や核家族化等により地域でのつながりの希薄化が進んでおり、地域コミュニティの維持、活性化を図る必要があります。
- 生涯にわたって学び続けるリカレント教育*の必要性が年々高まっており、市内の大学等でも市民向けの学びなおし講座が数多く開催されています。本市としてもこれらの取組を支援することで、市民がリカレント教育*を受けやすい環境を作っていく必要があります。
- 変化が激しく予測困難なこれからの社会を生きる子どもたちのために、社会総がかりで育ちを支えていく必要があります。
- 現図書館の老朽化に加え、収蔵スペースの限界や利用者ニーズの多様化への対応と市全域への均質な図書サービスの提供を図るため、市内唯一の現図書館を計画的に改修する必要があります。また、早期に複数図書館体制を図るため、図書館整備基本計画に基づき、「中央館」の整備や「ひこね燦ばれす」の図書館としての再整備に向けて取り組んでいく必要があります。
- 湖東定住自立圏共生ビジョンに基づき、圏域内図書館における連携強化を図る必要があります。
- 障害の有無にかかわらず、すべての市民が等しく読書を通じて、文字・活字文化を享受できる環境の整備を図る必要があります。

12年後の姿

- 市民ニーズの変化に対応した学習機会の提供により、子どもから大人まで市民一人ひとりが主体的に学び続けられ、活躍できるまちになっています。
- 公民館でのサークル活動等を通じた人と人とのつながりを大切にすることで、災害時等における地域での共助など、地域力や絆が育まれるまちになっています。
- 学校・家庭・地域・職場(企業)が効果的に連携・協働を進めることで、家庭や地域の教育力が向上し、地域が活性化するとともに、子どもが安心して暮らせる環境が整っています。
- 延伸していた「中央館」の整備については、財源確保の目的が立ち、事業に着手しているとともに、現図書館の大規模改修および「ひこね燦ばれす」の図書館としての再整備が終了し、市内複数館体制の実現により市内および圏域内の図書館ネットワークならびに市内全域にわたる図書サービスを向上できる体制となっています。
- ハード、ソフト両面でバリアフリー*な環境が整備され、障害の有無にかかわらず、だれもが気軽に立ち寄り、良質なサービスが受けられる図書館になっています。

4年後の目標

- 幅広い世代に公民館を利用してもらえるよう、若者向けの講座や、子どもと一緒に参画できる子育て世代向けの講座を工夫するなど、利用者の増加と定着をめざします。
- 地域と学校が連携・協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える活動を行うことで、地域力の向上を図り、学校を核とした地域づくりをめざします。
- 学校・家庭・地域・職場(企業)の連携やネットワークづくりを進めることにより、家庭・地域・職場(企業)が、子どもの教育に携わる当事者としての意識を高めることをめざします。
- 「中央館」の整備については、市の財政状況の改善を最優先とするため延伸していますが、財源が確保でき事業着手が可能と判断できれば、早期の整備をめざします。また、現図書館の計画的な改修を進めるとともに、「ひこね燦ばれす」を図書館として再整備するための取組を推進し、複数館体制の確保をめざします。
- 図書資料の充実や司書の資質向上により、圏域内の図書館ネットワークの構築に向けた基盤強化をめざします。
- 施設や設備、図書のバリアフリー*化を図るとともに、インターネットを利用したサービスの提供等を通して、だれもが利用しやすい図書館をめざします。

指標

指標名	単位	基準値(令和元(2019)年度)	目標値(令和7(2025)年度)
公民館の利用者数	人	169,000	190,000
市民一人当たりの貸出冊数	冊	5.2 (*平成30(2018)年度)	5.5

*令和元年度(2019年度)は工事による閉館期間などがあったため平成30年度(2018年度)を基準値としています。

主な取組

市が中心となって進める取組

1. 生涯学習の推進

担当課 生涯学習課、企画課

- 市民の学習ニーズに応じた学習機会の確保と充実に努めるとともに、市民がその成果を生かし地域でより主体的、積極的に活動できる環境づくりに努めます。
- より多くの市民が学習活動に取り組めるよう、あらゆる機会を利用して啓発活動の推進に努めます。
- 各地域における「地域学校協働活動」の充実を図るとともに、「地域とともにある学校づくり」をめざす「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」の拡充を進めます。
- 「コミュニティ・スクール」や「ひこふぁみ(彦根市家庭教育協力企業協定制度)」等の取組により、学校・家庭・地域・職場(企業)の連携・協働を進めます。
- 家庭・地域(図書館・公民館等)・学校・幼稚園・保育所等が相互に連携しながら、読書の楽しさを体感し、進んで本に親しむ子どもの育成に努めます。

- 地域に根ざした拠点施設として、学びの場や機会を提供するとともに、市民のニーズに対応した学習内容の充実を図るなど、公民館機能の充実に努めます。
- 荒神山自然の家において、小中学生等の集団宿泊研修や市民等の交流の場として、豊かな自然環境を生かした魅力ある事業を推進するとともに、さらなる民間活力の導入も含め、運営手法の検討を進めます。
- 市内大学等と連携し各種の学びなおし講座等の取組を支援することで、市民がリカレント教育*を受けやすい環境づくりを進めます。

2. 図書館施設の整備・維持補修

担当課 図書館

- 彦根市立図書館個別施設計画に基づき、現図書館の計画的な維持・補修を行い、長寿命化*を図るとともに、より快適で利用しやすい環境づくりに努めます。
- 彦根市図書館整備基本計画に基づき、「中央館」の整備に努めます。

3. 湖東定住自立圏域内図書館ネットワークの構築

担当課 図書館

- 図書資料の充実に努めるとともに、圏域内の図書館における情報の共有や研修の共同実施などを進め、司書の資質のさらなる向上と、図書館サービスの質的向上を図ります。

4. バリアフリー*な読書環境の整備

担当課 図書館

- 施設や設備のバリアフリー*化や、アクセシブルな書籍*等(拡大図書、LLブック、朗読CD等)の整備、インターネットを利用したサービスの拡充等に努めます。

多様な主体との連携による取組

- 社会教育関係団体や地域で活躍している自主的な学習サークル等に対して、活動が促進するよう支援します。
- 愛荘町、豊郷町、甲良町および多賀町と連携し、圏域内図書館の連携強化に努めます。

関連する個別計画等

彦根市集会施設適正管理計画
彦根市社会教育施設等適正管理計画
彦根市子ども読書活動推進計画(第3次計画)
彦根市図書館整備基本計画
彦根市立図書館個別施設計画